

# JOYFUL HONDA

原点回帰と新しい企業文化の創造

**2024年6月期第1四半期  
決算補足資料**

株式会社ジョイフル本田

(証券コード 3191)

2023年11月2日

# 24/6期 1Q決算のポイント

---

## 1 売上高は前期比 102.2%、経常利益は販管費の増加により前期比 93.7%

- ・ 生活の分野は前期比 105.3%、特にペット・レジャーグループが2桁成長（前期比 111.1%）
- ・ 本年4月にオープンしたジョイホンパーク吉岡の影響により販管費が増加

## 2 資産効率向上施策の実行

- ・ 約50億円の自己株式を取得、多量の自己株式を短期間で確実に取得することを目的として、取得方法はASR（Accelerated Share Repurchase）を採用

## 3 「持続可能な社会の実現」に向けた取り組み

- ・ 犬猫保護団体の活動（譲渡会）を積極的にサポート
- ・ 自社店舗で使用するグリーンエネルギーの創出を拡大

### <当資料の前提>

- ・ 24/6期の決算業績対象範囲を基本とし、実質比較のため、それ以前も同じ業績対象範囲で算出した数値で記載
- ・ 22/6期の期首より「収益認識に関する会計基準」を適用、実質比較のため、それ以前も同じ基準で算出した数値で記載
- ・ 上記により、過年度の数値は決算短信に記載の数値とは一部異なる

	23/6期	24/6期	上期予想	前期比		上期予想 進捗率 %	コメント (対前期比)
				金額	%		
売上高	30,966 (100.0)	31,634 (100.0)	67,000 (100.0)	+668	102.2	47.2	・既存店前期比 98.0%
売上総利益	10,012 (32.3)	10,072 (31.8)	22,000 (32.8)	+59	100.6	45.8	・物価高騰等の影響によるガーデン・ファーム、 インテリア・リビングの売上不振が影響
営業収入	1,433 (4.6)	1,592 (5.0)	3,050 (4.6)	+158	111.1	52.2	・ジョイホンパーク吉岡のテナント収益が上乗せ されたことが主要因
営業総利益	11,445 (37.0)	11,664 (36.9)	25,050 (37.4)	+218	101.9	46.6	
販管費	8,373 (27.0)	8,861 (28.0)	19,700 (29.4)	+487	105.8	45.0	・ジョイホンパーク吉岡の減価償却費の影響
営業利益	3,072 (9.9)	2,803 (8.9)	5,350 (8.0)	△269	91.2	52.4	
経常利益	3,302 (10.7)	3,093 (9.8)	5,810 (8.7)	△208	93.7	53.3	
税引前純利益	3,301 (10.7)	3,089 (9.8)	5,770 (8.6)	△211	93.6	53.5	
純利益	2,254 (7.3)	2,136 (6.8)	4,020 (6.0)	△117	94.8	53.2	

注：単位は百万円、%、（ ）内は売上高比率、百万円未満切り捨て、小数点以下第2位四捨五入

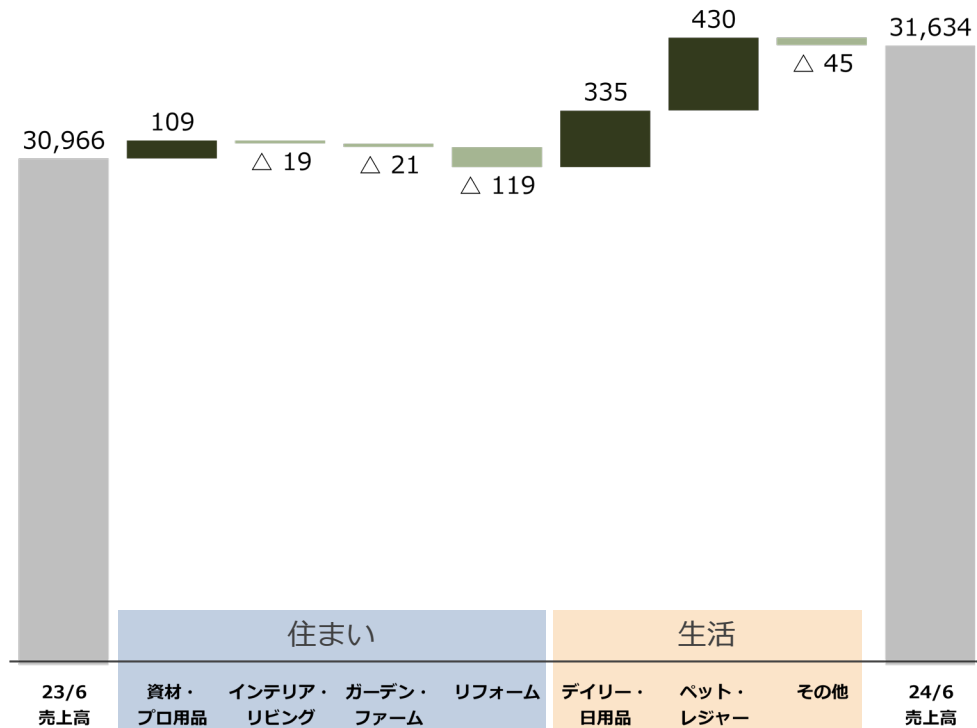
# 商品グループ別売上高および売上総利益

- ・ ペット・レジャーの売上伸長要因は、高機能フードの拡販と客数の増加
- ・ 木材等の相場品の値下傾向と花苗等の販売不振による値下げが粗利率に影響

## 売上高の増減

(百万円、%)

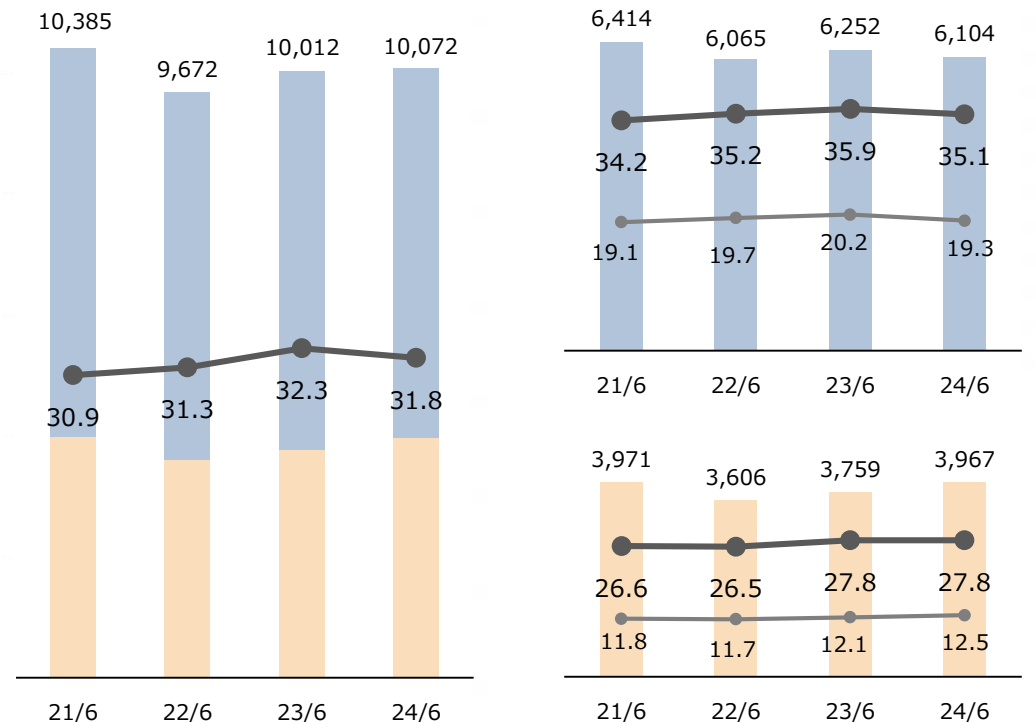
■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



## 売上総利益の推移

(百万円、%)

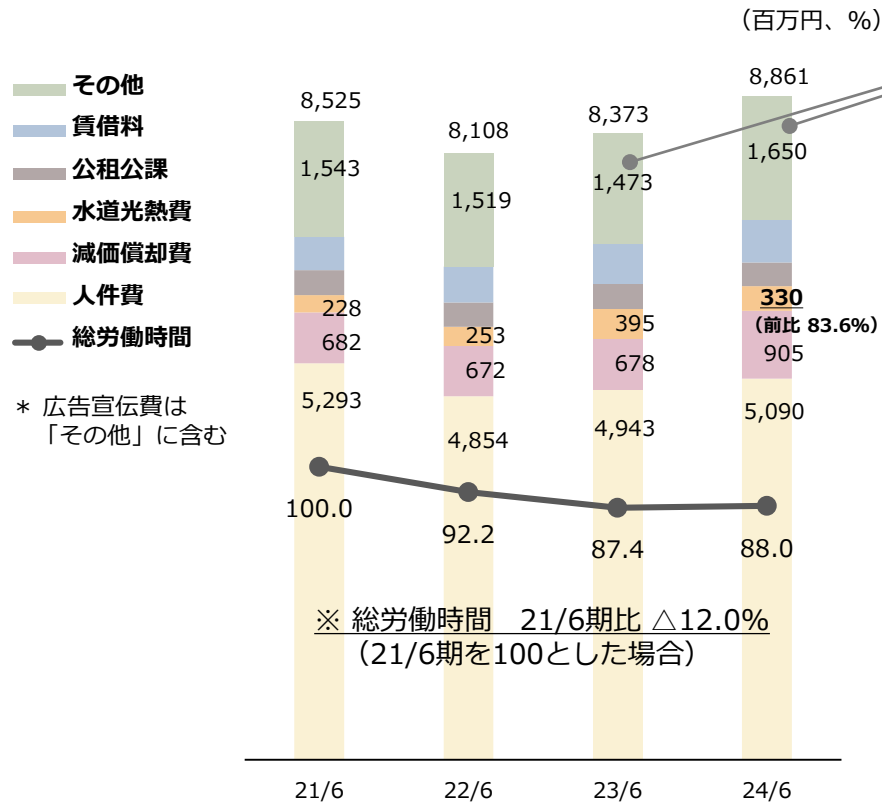
■ 住まい ■ 生活 ● 売上総利益率 ○ 相乗積



# 販管費と総労働時間の推移

- ・ 光熱費の減少（前期比83.6%、△64百万円）  
→ 給電先の変更、節電に向けた社内の取り組みの効果、政府の激変緩和措置等
- ・ 1店舗増加したが、人件費はほぼ前年並み

販管費と総労働時間の推移



主な販管費（その他）前期比

(百万円)

	22/6期	23/6期	前期比
旅費交通費	21	34	+13
保安管理費	390	429	+39
修繕費	42	156	+114
その他合計	1,473	1,650	+177

【増加要因】

- ・ 旅費交通費：海外出張の再開
- ・ 修繕費：店舗修繕の推進

		23/6期 1Q末	23/6期 期末	24/6期 1Q末	前年 同期末比	前期末比	コメント(対前期末比)
資産の部	流動資産	63,064	60,614	55,231	△7,833	△5,382	・ 現金及び預金が約47億円減少 (自己株式購入等)
	現金及び預金	40,112	35,022	30,233	△9,878	△4,789	
	売掛金 *1	3,530	4,065	4,021	490	△43	
	商品 *2	17,751	18,729	19,318	1,567	588	
	固定資産	94,364	100,313	99,497	5,133	△815	
資産合計		157,428	160,927	154,729	△2,699	△6,198	
負債・純資産の部	流動負債	21,611	19,486	18,454	△3,157	△1,031	・ 純資産が約43億円減少
	買掛金	7,517	6,511	7,510	△6	999	
	短期借入金	0	0	0	—	—	
	1年内返済予定の長期借入金	3,919	3,091	2,932	△987	△158	
	固定負債	21,500	22,111	21,281	△218	△829	
	長期借入金	11,320	9,120	8,387	△2,932	△733	
	負債合計	43,112	41,598	39,736	△3,375	△1,861	
	株主資本合計	113,423	118,273	113,921	498	△4,351	
純資産合計		114,316	119,329	114,992	676	△4,336	
負債・純資産合計		157,428	160,927	154,729	△2,699	△6,198	

\*1: 22/6期の期首より「収益認識に関する会計基準」を適用、売掛金には契約資産を含む

\*2: 商品には、仕掛品、未成工事支出金、未着品、原材料及び貯蔵品を含む

# 設備投資および減価償却費、キャッシュ・フロー

## 1. 設備投資および減価償却費

(百万円)

	21/6期	22/6期	23/6期	24/6期	コメント	24/6期末予想
設備投資	411	537	2,754	369		4,600
減価償却費	682	672	677	905	・新店舗ジョイホン吉岡店のコスト	3,700

## 2. キャッシュ・フロー

(百万円)

	21/6期	22/6期	23/6期	24/6期	主な内訳
営業活動によるCF	1,804	△691	3,068	3,317	・税引前当期純利益 +3,089
投資活動によるCF	1,399	△706	△469	△709	・有形・無形固定資産の取得支出 △711
財務活動によるCF	△2,356	△2,381	△5,006	△7,396	・長期借入金の返済支出 △891 ・配当金の支払 △1,494 ・自己株式の取得支出 △4,999
現金及び現金同等物の増減額	847	△3,779	△2,408	△4,789	・上記CFの合計
現金及び現金同等物の期末残高	38,723	41,715	40,074	30,195	

# 自己株式の取得

## ・ 約50億円の自己株式を取得

### 【自己株式取得の方針】

- ・ 資本効率を高め、1株当たり利益の増大を図る目的
- ・ 自己株式の取得・消却を機動的かつ継続的に実行していく

2024年6月期1Q実績	株式数	金額	補足
取得	3,021,100	約50億円	一括取得型自己株式取得（ASR）による取得結果 発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 4.64%
発行済株式数	68,584,671		
自己株式数	6,450,400		取得後の発行済株式総数に対する割合 9.41%

※ 2023年9月20日現在の自己株式数を基準に算出

上記自己株式には「株式給付信託（BBTおよびJ-E SOP）」により株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式379,120株を含まない



# 2024年6月期 主要テーマの進捗

---

1

人への投資

2

同質化競争からの脱却

3

持続可能で豊かな社会実現に貢献

# 1. 人への投資

## ・スタッフの就業環境整備を推進

- ① 時給制社員のベースアップ（2023年9月より）  
一律50円/hの引き上げ（オープン特別時給対象者は除く）
- ② 再雇用年齢の上限を75歳に延長（2023年9月より）  
時給制社員の再雇用年齢の上限を、現行の「満70歳の誕生日」から「満75歳の誕生日以降最初に到来する3月15日」に変更
- ③ 60歳以降の昇給制度を導入（2023年6月より）  
60歳以降の時給固定から、評価によって昇給可能に

健康面においても不安がなく、気力溢れる有能な人財の社外への流出を防ぐこと、継続して当社での勤務を選択していただき能力を発揮していただく下地を作ることを目指しております

皆さまへのお知らせ

### 皆さまが安心して長く働ける環境整備のために

— 具体的取り組みのご案内 —

## 時給制社員の時給一律ベースアップ

適用日：2023年9月16日

対象：時給制社員（技能職群、パート職群、アルバイト）  
ベースアップ金額：現時給より一律50円/時間 引き上げ  
※オープン特別時給を適用している店舗は対象外

### 再雇用年齢上限を70歳から75歳に延長

再雇用年齢の上限を現在の70歳から75歳に引き上げました。また、契約の満了日を誕生日から、75歳の誕生日到達以降最初に迎える3月15日としました。  
適用日：2023年9月16日

### 60歳以降の社員皆さんの昇給制度を導入

お客様の為に行動指針に沿って行動できる方が評価・昇給できる仕組みを導入しました。またこれまでは、60歳以降の時給は固定でしたが、新制度は評価によって昇給ができるようになりました。  
適用日：2023年6月21日

#### Others

##### GLTD 制度の導入

※団体長期障害者所得補償保険  
病欠やケガで長期離職しなくなった社員の皆さまについて、有給休暇や健康保険だけでは補えない所得の喪失を補償する仕組みで、会社加入分に加え、皆さまの任意による追加部分のご案内を開始しています。  
適用日：2023年2月1日（会社補償分）  
※補償額増額オプション（任意）は2023年11月1日より

##### 育児短時間制度

育児短時間の対象となるお子さんを小学校3年生終了まで延長しています。適用日：2022年6月1日

##### 幅広い活躍を目指していただくための仕組みの導入

パート職群から技能職群・正社員、技能職群から正社員への転換基準を示し、キャリアアップを目指す方の目標を明確にします。適用日：2023年9月16日

今後も継続していきます

- インフルエンザ予防接種の補助金支給
- 資格取得者への手当支給
- 時給制社員の休職期間変更

本件に関するお問い合わせ 本社人事・総務部 TEL.029-822-2215

**JOYFUL HONDA**

2023.10

社内掲示用ポスター

## 2. 同質化競争からの脱却 / 商品戦略

- ・ ジョイホンパーク吉岡の成功事例を既存店に水平展開（荒川沖店、守谷店等）  
⇒ 当社の強みである品揃えを更に強化して、職人・プロ用品の専門化を図る

### 商品付加に対する取り組み（例:荒川沖店）

#### ① ゴンドラの仕様の変更

高さ 1,800mm ⇒ 2,100mm

奥行 450mm ⇒ 300~350mm

#### ② 通路幅変更によるゴンドラ本数の付加

部門名	改装前	改装後	ゴンドラ 本数の付加
工具	166	238	+72
塗料	101	125	+24
電気電材	134	138	+4
金物	163	191	+28
作業用品	155	242	+87

### ホームセンター内にプロショップ本田屋を再現



本田屋のノウハウを表現



職人さん目線の品揃え



プロショップでしか取り扱えない  
商品を投入



その他

仏壇の導入（千葉ニュータウン店）

# 3. 持続可能で豊かな社会実現に貢献

- ・ 犬猫譲渡会への積極的支援
- ・ 2024年6月期は、これまで25の譲渡会団体様と合計89回の譲渡会を開催

	23/6期末		24/6期1Q	
	開催数	譲渡数	開催数	譲渡数
合計	320	1,179	89	214



▲ 譲渡会の様子



▲ 譲渡会告知

# 商品グループ別売上高および構成比の推移

	21/6期	22/6期	23/6期	24/6期
<b>住まい</b>	18,730 (55.7)	17,242 (55.9)	17,435 (56.3)	17,383 (54.9)
<b>資材・プロ用品</b>	5,729 (17.0)	5,299 (17.2)	5,459 (17.6)	5,568 (17.6)
<b>インテリア・リビング</b>	4,610 (13.7)	4,218 (13.7)	4,187 (13.5)	4,168 (13.2)
<b>ガーデン・ファーム</b>	4,733 (14.1)	4,093 (13.3)	4,148 (13.4)	4,126 (13.0)
<b>リフォーム</b>	3,657 (10.9)	3,631 (11.8)	3,639 (11.8)	3,519 (11.1)
<b>生活</b>	14,921 (44.3)	13,619 (44.1)	13,531 (43.7)	14,251 (45.1)
<b>デイリー・日用品</b>	10,683 (31.7)	9,508 (30.8)	9,382 (30.3)	9,718 (30.7)
<b>ペット・レジャー</b>	3,945 (11.7)	3,846 (12.5)	3,878 (12.5)	4,308 (13.6)
<b>ガソリン・灯油</b>	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
<b>その他</b>	292 (0.9)	264 (0.9)	269 (0.9)	224 (0.7)
<b>合計</b>	33,652	30,862	30,966	31,634

注：単位は百万円、%、（ ）内は売上高比率、百万円未満切り捨て、小数点以下第2位四捨五入

## 株式会社ジョイフル本田（証券コード 3191）

本社	茨城県土浦市富士崎一丁目16番2号
設立	1975年12月15日
資本金	120億円
売上高	1,233億円 *1
従業員数	4,486名（うち正社員1,867名）*1
代表者	平山 育夫（代表取締役社長）
事業内容	ホームセンター事業、住宅リフォーム事業
店舗展開	ホームセンター 17店舗、専門小売店 6店舗
出店エリア (ホームセンター数/専門小売店数)	千葉県（6/3）、茨城県（4/1）、群馬県（3/0）、 埼玉県（1/1）、栃木県（2/0）、東京都（1/1）
関連会社（店舗数）	株式会社MTJフィットネス（3）*2

\*1 2023年6月期末の数値

\*2 関連会社の店舗もすべてジョイフル本田敷地内に帯同出店

## 将来の見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料は、2023年11月2日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果がある点を確認された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましては、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身の判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

【IRに関する問い合わせ先】

広報・IR部 E-mail : 3191ir@joyfulhonda.co.jp  
電話 : 029-822-2215 (代)